

業況レポート

情報連絡員報告

平成24年11月期

製造業

- ◇パン…原発風評被害は残っているものの、少しずつ回復しているように感じる。2013年5月頃に第2回スイーツフェアの開催を計画している。
- ◇酒…10月の課税移出数量は前年比98.2%、全国ベースでも98.8%とやや頭打ち。焼酎乙類も69.3%と大きく落ち込んだが、焼酎含め日本酒需要が増加するシーズンに期待したい。各蔵元は年末年始に向けて広告物によるPRに注力している。
- ◇納豆…諸経費が上昇する中、中堅メーカーによる過度な安値販売が目立ってきた。価格競争に火がつけば業界の更なる整理統合及び淘汰が進行する恐れがある。
- ◇菓子…組合員は県内各地の産業祭などのイベントに趣向を凝らし出店。人出はあったが菓子の売れ行きは伸びず、店舗販売についても同様の状況で景気は良くない。
- ◇繊維製品（袋物）…年末商戦に向かって売上は増加傾向だが、売上増の会社と減少の会社の差が大きくなってきたように感じる。
- ◇繊維製品（縫製）…受注状況は昨年並み。例年、年末は残業も多くなり多忙を極める
- ◇木材…例年に比べ活気に欠ける市況。外材との競合で市況の弱気を払拭できず買い手市場から脱却できない状況。前年並みの販売量を確保しても売上は前年に届かない。市況全般に弱保合。
- ◇プレカット…今月も目標数近くの加工が出来、12月も同様の予定。加工材料の納期が遅くなっている。
- ◇段ボール…年度末に向かって販売も徐々に増えつつあるが全体的に不景気感が強い。
- ◇印刷…競争激化による価格の下落傾向は続いており収益状況の厳しさが増している。
- ◇焼物…少しずつではあるが、客足が戻りつつある。集客に繋げるために努力していきたい。
- ◇鍍金…仕事量は前月比1～2割減、前年比では2割以上減。特に自動車部品、家電製品関係は3割以上減少のところもあり相対的に売上高も2割以上減少。電気料金値上げが業界の景況に大きな悪影響を及ぼしている。金属材料、工業薬品とも前年と同水準。資金繰りは年末から年度末に向け厳しい企業も出てくると思われる。
- ◇重電…今後の作業量は減少傾向にあり先行き不透明。
- ◇電化機器…当月生産高は812百万円（前年同月比△15.6%）。生産高も下降傾向にあり、今後も厳しい状況が続くものと思われる。
- ◇自動車部品…急激な生産高の低下が懸念されており、回復の目途が全く立たない状況。
- ◇工業団地（農機部品）…組合員7社中5社が売上増で、全体では前年同月比104%。得意先の売上高は悪くないが国内生産状況は不安定で増減を繰り返している状況。得意先の海外生産が本格的になってくると、その影響が国内部品製造業に出てくることは否定できない。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は前年同月比90%、前々年比でも96%と減少。震災需要は北茨城市と鹿行地区のみとなり総体的に減少傾向。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比2.92%減。年末商材を中心に在庫数量は増加。消費低迷で売上高は減少傾向が続いている。
- ◇食品卸売…青果関係は単価の持ち直しにより前年対比増で推移したが利幅がなく厳しい販売。3件の青果関係業者の加入があった。

- ◇県南地区卸売…飲料水・食材・食肉は低調。全体的には不変となった。
- ◇県央地区共同店舗…寒さで重衣料の売上が若干伸びてきた。生鮮食料品は売上確保に苦勞。ディスカウントスーパーの出店が決まりさらに競争激化が予想される。
- ◇県北地区共同店舗…ここに来てさらに客単価がダウンし厳しい状況。年末年始商戦に期待を寄せるのみ。
- ◇県南地区共同店舗…先月より若干前年比率が回復したが、売上高の減少は止まらない。サービス部門の急激な落ち込みがあり先行きは不透明。
- ◇家電…LEDシーリングライトのキャンペーンをスタートし、チラシ等で注力した店はそれなりの成果をあげている。取組みにはバラツキがあり売上全体では減少。太陽光発電、ヒーター・エアコン等の需要が増加。
- ◇中古自動車…新車減税の終了に伴う販売不振により、中古車がタマ不足になっているため、オークション出品台数が大きく落ち込んでいる。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比2円上昇。販売量が減少しているため売上高も減少。安値販売競争が続いているため、廃止・休業等に追い込まれる組合員が増加。
- ◇ホテル旅館…紅葉の観光客は今年の倍以上になったが、震災前までは戻っていない。平日の空室が目立つ。主にビジネス客の施設は景況悪化によるものと思われる。
- ◇自動車整備…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は前年同月比普通車99.6%、軽自動車は101.3%と微増。
- ◇総合建設…受注量は十分以上にあるが、需要が上回っているため職人の絶対数が不足。
- ◇管工事（県南）…水道局発注の工事が数件始まったためか、原材料の動きがやや増加。
- ◇電気工事…太陽光の普及に伴う工事増のため売上、収益、景況がやや好転。他県の異業種からメガソーラー取付工事の依頼が多発しているが、条件的に不利な依頼が多く工事請負は難しいのが現状。
- ◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量が昨年水準を下回っている。燃料価格が上昇傾向で収益を圧迫している。
- ◇県央地区運輸…秋冬衣料品、家電製品の動きが良い。ホームセンター等の年末売出や農作物出荷で動きが良かったが経営は厳しいままである。

H24.11月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業		▲66.7			▲50.0
その他製造業		▲20.0			▲40.0
卸売業		▲50.0			▲25.0
小売業（商店街を含む）		▲54.5			▲54.5
サービス業		▲50.0			▲50.0
建設業		20.0			▲40.0
運輸業		▲50.0			▲50.0
全体		▲34.0			▲44.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（DI値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はDI値